

湊中学校について

校長 北山勝則

1 校訓 「自律」 「創造」 「奉仕」

2 教育目標と努力目標

《教育目標》

- ① 自ら学ぶ生徒 (知)
- ② 思いやりのある生徒 (徳)
- ③ たくましく生きる生徒 (体)

《努力目標》

- ① 目標をもって学ぶひとになろう
- ② 人の気持ちのわかるひとになろう
- ③ 進んで活動するひとになろう

3 学校経営基本方針

『学校は、笑うところ。学校は、感動するところ。そして学校は、成長するところ』

生徒一人ひとりの確かな成長を保障するため全教職員が意識を合わせ、方向性を一つにし、生徒の発達段階にあわせた仕掛けをしていきたい。その根底には、目の前の子どもを何とかしたいという「人間愛」や「情熱」と、自分がやらないで誰がやるという「プロ意識」と「責任感」が望まれる。生徒のことを考えた、生徒のためになる指導から、自己肯定感や有用感を高め、自己理解と自分をコントロールする力を定着させたい。そして、他者を思いやる気持ちと将来を見通す力を育てたい。

(1) 目指す学校像

- ① 学習の基礎・基本の確実な定着に、生徒も教師も意欲的に取り組む湊中
(低学力生徒への相乗的な支援体制、特別支援的思考を段階的に意識して)
- ② お互いの価値を認めあい、優しさを共有し、安心して通うことができる湊中
(行事や日常生活の中でのふれあい、発見、感動、偏見排除を意識して)
- ③ 挨拶がこだまし、笑顔があふれる活力のある湊中
(生徒会活動、部活動での基本的生活習慣の仕掛けを意識して)

(2) 目指す生徒像

- ① 粘り強く学習に取り組み、向上心に満ちた生徒 (自ら学ぶ生徒)
- ② 他者の役に立つことに価値を見だし、命の尊さが分かる生徒 (思いやりのある生徒)
- ③ 強靱な精神と身体を備えるために、忍耐強く取り組む生徒 (たくましく生きる生徒)

4 学校課題 ～生徒の変容のための重点的実践事項～

- ① 教師力向上の場面設定 (生徒指導や特別活動だけでなく、授業力・経営力・対応力も)
- ② 学習内容の定着と上位層対応 (ユニバーサルデザインの継続と発展課題の与え方)
- ③ 他者を思いやる心の育成と伝え方 (一体感や成就感からの振り返りと他者理解)
- ④ 粘り強さやたくましさの育成 (挫折体験等からの自己特性理解)
- ⑤ 規範意識の醸成 (根気強い道徳的意味づけと、役割分担によるチーム対応)
- ⑥ 保護者の子育て当事者意識向上 (子育て不安からの過干渉や放任の自覚と連携体制)
- ⑦ 地域の学校支援意識の活用 (地域行事への参加と情報発信)
- ⑧ 疾病治療率の向上 (2週間に1日は、治療優先の日を。部活を言い訳にさせない。)

5 平成28年度学校目標 (今年度の目標)

「静」と「動」を共有できる生徒の育成

〔重点施策〕

- 1 生徒の発達段階に合わせた指導力の向上
 - ① ユニバーサルデザインの視点を生かした教科、領域への取りまかせ方の工夫
 - ② 全校一斉コンテストへ効果的に取りまさせる指導の工夫 (スベリング、計算)
 - ③ 家庭学習の習慣化や自主勉強ノートの質を高めさせられる指導力の向上
- 2 隣人と自分の考えを伝え合い、支え合い、認め合える集団づくりの推進
 - ① 行事や部活動等の体験活動への事前の意味づけと方向性の共有化
 - ② 横断的な道徳教育の実践と教材や諸検査の活用の工夫
 - ③ 潜考からの自信や課題を隣人と共有し、お互いを高め合える集団づくり
- 3 基本的生活習慣の定着や自主的な活動を発揚できるような個の力の育成
 - ① 挨拶・返事・後始末などを定着させる指導
 - ② 自分の役割と価値を感じさせ、自己有用感を高める指導
 - ③ 失敗にめげず、何度もチャレンジし続けるたくましさの育成